



ニュースリリース

2018年 5月14日
新日鉄住金エンジニアリング株式会社

インド／JSW社ドルビー製鉄所向け移動式KR脱硫設備の受注について

新日鉄住金エンジニアリング株式会社（代表取締役社長：藤原 真一、本社：東京都品川区、以下「当社」）は、インド民営最大手製鉄会社である JSW スチール社（以下「JSW 社」）より、ドルビー製鉄所拡張計画※の一環として、移動式 KR 脱硫設備を受注いたしました。

現在インドでは高級鋼の需要が急速に拡大しており、脱硫設備は、溶銑の処理プロセスとして、高級鋼の安定的かつ効率的生産には必須の設備です。KR 脱硫設備^{※※}は当社が開発したもので、国内外に約 20 件の納入実績があります。インドで現在稼働中の KR 脱硫設備 3 基のうち 2 基は、当社が JSW 社のビジャナガール製鉄所に 2016 年に納入した移動式 KR 脱硫設備です。

当社の移動式 KR 脱硫設備には、以下のようなメリットがあります。

- ①：1 基の KR が複数のステーションで脱硫処理できるため、固定式 KR の複数台保有に比し、設備費が削減できる。
- ②：複数箇所で行って脱硫・排滓作業ができるため、作業時間の短縮が可能となる。
- ③：移動式 KR、固定式 KR の使い分けにより、レイアウトの自由度が増し、顧客の要求やスペースの制約に合わせた柔軟な対応が可能。

上記に加え、当社の長年の経験・ノウハウや独自の設計手法により、振動等のトラブルが極めて少ないことが JSW 社から高く評価され、ビジャナガール案件に続いての受注となりました。当社は、今後も特徴ある KR 脱硫設備で、インドの高級鋼生産ニーズに的確に応えていく所存です。

※ドルビー製鉄所拡張計画

当社が第 2 高炉（炉内容積：5,358 立方メートル）を建設中。2019 年の稼働開始に向け、急ピッチで工事を進めている。

※※KR脱硫設備

耐火物製のインペラー（回転翼）を溶銑中に浸漬して回転させ、溶銑と脱硫剤を機械的に混合し脱硫反応を促進する設備。インペラーを高速回転させることで、効率的に脱硫反応を促進することができる。また、脱硫剤として高価なマグネシウムではなく、安価な石灰を使用して脱硫することが可能で、マグネシウムを用いる場合と比較し、作業コストを大幅に削減できる。（マグネシウム利用法より、約45%の作業コストを削減可能）

【設備概要】

JSW社 ドルビー製鉄所 KR脱硫設備

処理能力 365トン／ヒート

最大処理量 45ヒート／日

【KR脱硫処理（イメージ図）】



【お問い合わせ先】

CSR・広報部 広報室 03-6665-2366

以上